

公立小野町地方総合病院情報

町では小野町第三次振興計画後期計画や平成17年度町重点施策による、「公立小野町地方総合病院の支援」を掲げています。今月も町民の皆さんの理解を深めていただくため、地域の生活基盤に重要な役割を果たしている総合病院について、その診療内容などを紹介します。

診療科目紹介

耳鼻咽喉科



耳鼻科と省略されることが多いのですが、正式には耳鼻咽喉科で、みみ、はな、のどの専門医です。

非常に狭い範囲ですが、音を聞く、呼吸をする、ものを食べるなどが生きていく上で非常に大切な領域の治療を行っています。中耳炎や蓄膿症、鼻出血、声帯ポリープなど耳鼻咽喉科ならではの疾患から、内科や小児科にもまたがる疾患までさまざまです。めまいや風邪といった内科の疾患と思われがちです。

しかし、めまいの約8割は耳からのめまいといわれています。また、風邪の主な症状は鼻水、のどの痛み、せきなど鼻やのどの症状がほとんどです。めまいや風邪などでも是非、耳鼻咽喉科を利用して下さい。

お年寄りで耳が聞こえない場合、補聴器を購入することが多いと思いますが、その前に一度耳鼻科を受診してください。重大な疾患が隠れていたり、逆にちょっとした処置で聞こえやすくなったりすることがあります。

診療時間

毎週木曜午後2時～5時

担当医 佐藤 勇

(さとう)耳鼻咽喉科クリニック

診療部門紹介

臨床検査科

臨床検査科では、臨床検査技師3人と助手2人の5人で運営しています。また、夜間や休日等の時間外には、呼び出しによる24時間体制を取っています。

臨床検査には心電図や脳波等の人と向き合う「生体検査」と、身体から採取された血液や尿等を測る「検体検査」があります。当科ではこれの検査のレベルを医大や都市部の病院と比較して確認する為、臨床検査技師会やその他複数の精度管理事業に参加しており、良好なデータが得られています。一方、臨床検査の進歩は極めて速く、従来、研究室レベルで行われていた検査が瞬く間に広まったりするので、勉強と情報収集は欠かせず、新しい検査は、いち早く取り入れるようにしています。

臨床検査は、診断、治療、経過観察、入院、退院の全てのステップにおいて重要な役割を持っています。

病気を知らう！

高脂血症

高脂血症とは、血液中の脂肪分、大きく分ければ中性脂肪とコレステロールの2種類に分けられますが、これらが増加している状態を言います。中性脂肪は体のエネルギー源の一つで、エネルギーの貯蔵機構となっています。コレステロールは私たちの体をつくっている細胞の構成成分として、また体の動きを調節する物質であるホルモン・

ビタミン等の原料として無くしてはならない大切な栄養素です。しかし多すぎれば動脈硬化を促進し、それに伴って色々な病気、特に生活習慣病と言われる高血圧、心筋梗塞、脳梗塞等の動脈硬化性疾患にかかりやすくなってしまうという問題があります。また、少なすぎれば栄養が不足して健全な体を作り上げ維持していく事が難しくなってしまいます。

皆様も健康維持、生活習慣病防止のために、血液中のコレステロールや中性脂肪を測ってみてはいかがでしょうか。

医療機器紹介～CT～

レントゲン技師長 泉 守明



CTとは、Computed Tomographyの略称で、Com…とはコンピュータのことであり、Tom…とは断層撮影という意味です。体を中心にしてX線管と検出器を回転させながら撮影していき、画像は人体を輪切りにした像として描出されます。現在の当院のCTは、2台目になり高速で連続撮影することが可能です。そのため、検査を受けてもらう時間が大幅に短くなっています。(胸部だと20分が1分に)また、造影剤を使用する検査の幅が広がり、画質の向上も含めてより診断価値の高い検査を提供することができるようになりました。